

南笠東学区入推協だより

絆

きずな

2026

令和7年度のあゆみ

【総会】 5月15日



【第3講座】 7月19日



【第4講座】 9月6日



【管外研修】 9月19日



【実践発表のつどい】 2月14日



まずは身の回りから

南笠東学区人権教育推進協議会 会長 古田 昌平

日頃より当学区の人権教育推進活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

2025年は昭和という激動の時代の100年目でした。団塊の世代は戦後に生まれて物がない時代に育てられましたが、物がないのは自分だけではなく、また反対に今の様に物があふれて次々とほしい物が出てくる時代でもありませんでした。しかし、戦後まもなく生まれた者にとっては、次々と現れる新しい技術や製品を目にするおもしろい時代でもありました。

節目を迎えた現在の世界はウクライナやパレスチナとその周辺、また、いわゆる大国の振る舞いから生まれる不安定な世界、その結果、人生の大事な時を失った多くの人たちの心情を思うとき「人権とは何ですか？」と疑問符が付きます。こんな大規模な人権侵害もあれば私たちの周りには、歴史や因習の様に根深くて解決できていないもの、ネット上の中傷やストーカーのように個人を標的にしたもの、法令を犯して車を運転した者のその犠牲になった方もおられます。わたしは「他者の理不尽な行いの犠牲になること」が人権の侵害に当たると思いますが皆さんはどう思われますか？

我々（団塊の世代）の時代にはガキ大将はいましたが、いじめと言うものはそんなになかった様に思います。それはその行為が見えていたからで今の様にネットの上での秘匿性の陰に隠れた陰湿な精神的ないじめはなかった様に思えます。

私たち人権教育推進協議会は人権の啓発が主な活動です。会報誌「絆」や管外研修、各種の行事を介してこのような状況を無くす、あるいは縮小できるよう、南笠東学区から今後も啓発していきたいと思えます。

令和7年度人権教育管外研修

人権教育推進協議会 副会長 中出 高明

令和7年度「人権教育管外研修」は、令和7年9月26日（金）に滋賀県立安土城考古博物館と滋賀県平和祈念館を訪問しました。事務局の2名を含め総勢20名の方に参加いただきました。

まず、9時40分頃に到着した、「滋賀県立安土城考古博物館」は、「安土城と信長・戦国をテーマとする唯一無二の博物館」として、2025年3月にリニューアルオープンされました。

当日施設のガイドさんから、信長が築城した当時の安土城を高精細フルCGにより復元した映像を上映する第1常設展示室と、信長や安土城に関する歴史資料、戦国時代の近江、観音寺城(近江八幡市)や小谷城(長浜市)に関する資料を展示する第2常設展示室の説明を受け、信長の足跡を知ることができ、歴史と人と人との関わり方を身近に感じられる施設でありました。

続いて訪問した、滋賀県平和祈念館は、県民の戦争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願う心を伝えるための拠点となる施設です。

県民の戦争体験とそれにまつわる当時の資料が多く展示されており、語り部による戦争のお話や講演会など、平和について体験的に学習ができ、貴重な研修となりました。

また、戦争を知らない世代の人たちが、戦争体験者の資料や語りをとおして、戦争で亡くなった人びととその家族に思いをいたし、みずからの生活を振り返ることはとても大切なことだと思いました。

**町内学習懇談会の取組み**

モデル町内会 笠山町町内会 会長 棚橋 幸男

11月8日（土）、「人権と環境問題・私たちの未来を考える」をテーマに学習懇談会を開催しました。当日は住民40名と草津市からの協力者3名が参加し、全8グループに分かれて話し合いを行いました。



まず、進行役より、尊厳や平等といった人権の基礎知識について説明を受け、全員で共通認識を持ちました。その後の意見交換では、幅広い世代が参加したことで、家庭での実践経験など多様な視点からの発言が相次ぎました。身近な生活の中にある人権と環境の繋がりについて、世代を超えて理解を深め合う貴重な機会となりました。

最後に市役所の協力者より助言をいただき、今後の活動に向けた非常に有意義な取組みとなりました。

人権学習で気付いたこと

モデル団体 草津栗東交通安全協会南笠東支部 和泉 信也

モデル団体に選ばれて草津市や学区および町内会での研修会に参加しました。また支部のメンバー全員で学習懇談会を開催し、人権及び差別について話し合いを持ちました。

以前は部落差別のことをよく耳にしたが、最近は話題になることが少ない。今、人権問題で気になるのはSNSによる誹謗中傷投稿による他人へのいじめ攻撃や、外国人に対する意識差別が議論になりました。国や個人にとっての常識の違い、自分と意見や考え方の違い、差別と区別の違いや、人それぞれの普通とは何かといろいろな話し合いをしました。

人権や差別はこれで解決との結論は出ませんでした。問題に対する意識は高まりました。国も個人もしっかりした主義主張を持つことは大切ですが、相手の考え方も尊重し認め合い穏やかな気持ちで接することで、戦争や差別のない平和な社会になることを願っております。

標語で語り合う私たちの人生観 モデル団体 水墨画サークル(自主教室代表) 大石 隆

水墨画サークルは、健康保持のため、皆でお話を楽しみながら、研修する事を第一にしている、後期高齢者を中核とする、グループです。

「人権についての話」をすると改めて構えると、会員の皆様は、多くの人生経験を経た方ですので、「テーマ」の設定に苦労します。そこで今回は過去に表彰された「人権標語」の中から、各自が選んだものを、順番に読み上げ、感想を述べるという方法にしました。読み手の人の感想を聞き、それにいろいろな意見が出て、盛り上がりました。「相手に伝わる声掛け」「朝学童から挨拶をもらうとうれしい」「スマホでの表現に気を付けたい」「笑顔にたすけられた」「災害地で助け合い、皆で生きる・・・意味が深い」「言葉使いが大切」等々、終了して「いい時間を費やした」と言う気持ちが全員にありました。さあ！次回のテーマは何にしようかな？



じんけん学習会を終えて 南笠東小学校 PTA 人権教育推進委員長 浦本 広美

今年度は、重度の様々な後遺症を抱えながら「日本一無口な講演家」として全国で活動し“幸せとは気づくもの”というメッセージを伝え続けてきた河村武明先生をお迎えし、「不思議なありがとうのチカラ」をテーマにご講演いただきました。

多感な時期でもある5・6年生と担任、保護者や地域の方が参加し、河村先生がこれまで歩いてこられた境遇や後遺症との向き合い方やきれいな言霊・汚い言霊の紹介など物事の捉え方や言葉が及ぼすチカラについて語られていました。講演中におお～！と、みんなで掛け声を言う場面が何度もあったり、対話を交えた場面も多くあったり、参加者の意見を発表し合うことで深い意識づけへと繋がりがぼかぼか温まるお話でした。講演終了直後、ありがとう！ときれいな言霊をすぐさま伝えてきて実践をしている子ども達が多く、「相手だけではなく自分にもありがとうと言います」「珍しい講演形式が新鮮で聴きやすかった」等の感想もあり、様々な心情や思考が行き交う素晴らしい学習会となりました。



玉川中学校の人権のとりくみ 玉川中学校 人権教育担当教員 藤井 啓輔

人権教育講演会を2回実施しました。1回目は6月12日(木)、(株)NIT 情報技術推進ネットワークの篠原嘉一さんに情報モラルに関わる講演をしていただきました。スマホなどのトラブルを未然に防ぎ、犯罪などに巻き込まれないようにする手立てについて学びました。毎年、この時期にお話をお聞きするのですが、情報がたいへん更新されています。2回目は10月14日(火)、ネパールで孤児院の運営をされている、一般社団法人child support organization 代表の竹中俊さんに「貧困と人権～ネパール孤児院サポート10年間の物語～」と題して講演していただきました。多文化共生について学び、生徒自身ができることを考えました。どちらの講演会も保護者にも参加していただき、生徒とともに考える機会となりました。

人権センターの取り組み 草津市立人権センター 竹端 淳

7月5日(土)に開催した町内学習懇談会推進者研修講座第1講座では、町内学習懇談会の現状や課題、課題解決の方法、具体的な教材(ワークシート)を活用した進め方などについてお話をいただきました。また、第2講座では、「差別の現実を再認識すること」、「『寝た子をおこすな論』の誤り」などについてお話をいただきました。

9月に発刊した「めざめ第48集」では、「わたしの未来は わたしが決める！」をテーマに、人権感覚をアップデートし、差別をなくす行動につなげる私の生き方を考えることをめざして作成・配布しました。

南笠東学区人権教育推進協議会の皆様、ご協力いただきありがとうございます。



人権作品・表彰者 一覧

標語 一般の部

- 気をつけよう SNS は鋭利な刃物
- おせっかい？勇気を出して声かける
- やさしい声 やさしい笑顔 ありがとう
- 強制より 共生でつなぐ 町の絆
- 幸せは笑顔で交わすあいさつから

- 橋本 頌造
- 橋本 鈴子
- 三谷 千代美
- 松下 晴華
- 平川 しげ子

標語 小・中学生の部

- 使おうよ やさしい言葉 いっぱいね
- いっしょに 遊ぼう 楽しいよ
- みんな 楽しくわらって 遊ぼうよ
- こまっている 人を見つけた 助けよう
- ちがっても みんななかよし いっしょだよ
- ふわふわ言葉 みんなでいっぱい 言い合おう
- そのことば 責任持つのは あなただよ
- 戦争は みんなの笑顔 奪ってく
- 世界中 みんな誰かの 宝物
- 平和はね みんなの笑顔 つくるんだ
- 決めつけず 中身を見よう 認めよう
- すてきだね 個性豊かな この世界 認め合えれば 笑顔咲く

- 大本 麻晴 (小3)
- 渡邊 健斗 (小3)
- 房野 虹海 (小3)
- 藤丸 優月 (小3)
- 中藪 結湊 (小3)
- 池田 彩音 (小3)
- 國米 宏希 (中1)
- 水谷 菜緒 (中1)
- 林家 陽菜梨 (中2)
- 市井 絵奈 (中2)
- 富永 瑞季 (中2)
- 田中 姫里愛 (中3)

作文の部

- かわいそうってなんだろう
- じんけんの大切さ
- 大切な友だち
- わたしが思う いじめ じんけん
- 戦争から考える人権の大切さ
- 多様性を認め合う社会を目指し
- 無意識の中の固定観念

- 石井 柚咲 (小4)
- 岸村 隼人 (小4)
- 大坂 こなつ (小4)
- 田中 結菜 (小4)
- 松尾 悠生 (中1)
- 城井 健志 (中2)
- 片岡 菜摘 (中3)

ポスターの部

- 犀川 志帆 (小6)
- 千葉 由衣 (小6)
- 池本 理恵 (小6)
- 羽山 涼 (小6)
- 大橋 彩葉 (小6)
- 福島 瑞木 (小6)
- バレラ ハダサ ミカイラ ソルソロイ (中2)
- 松原 小桜 (中2)
- 秋山 育士 (中3)
- 平野 兔実 (中3)

2月14日の実践発表のつといで表彰させていただきました